

国際陶芸 フェスティバル in ささま 開催!!

開催: 2013年11月22~24日
会場: 山村都市交流センター ほか

このフェスティバルは、笹間の良さを知ってほしいという村人の思いと、国内で陶芸家どうしが語り、刺激し合うフェスティバルを開きたいという思いが出会い、開催されました。「小さな村から世界への発信」をテーマに、世界から陶芸家と陶芸ファンが集まり、陶芸を通じて、地域の人とふれあいました。

笹間神楽との コラボレーション

地元に伝わる「笹間神楽」にあわせた、陶芸パフォーマンス! ろくろをのぞき込むえびずさんがちょっとカワイイ! (´▽`*)



お母さんのささま食堂

地元のお母さんたちの自慢の家庭料理をデリバリー。レシピを聞かれるほど、大好評でした!



夜空を焦がす炎のイリュージョン

招待作家のニーナ・ホールさんの船と家をモチーフにした巨大オブジェが登場。炎が夜空を照らす幻想的なアートに、みんなうっとり…(*´ω`*)



グローバルに交流

9ヶ国10名の招待作家と、国内外の約60名の陶芸家が参加。身ぶり手ぶりで陶芸について熱く語っていました(*´д`)/

たのしむ

川根には、「いいとこ」がたくさんあります。

季節によって、人によって、

いろいろな楽しみ方があります。

のんびりと歩きながら、おしゃべりをしながら、

あなたにぴったりの楽しみ方を探してください。



馬とふれあうことができるのも川根の魅力の一つ

▶ラプリーホースガーデン…map⑧
乗馬体験や引き馬体験が楽しめる
家族におすすめのスポット
(P.54で施設紹介 要予約)



野守の池を、釣りの名所に

西村さん



子どもの頃は、夏になると野守の池でよく水遊びや魚釣りをしたものです。しかし一時、池の水は汚れや臭いもひどくなり、魚もいなくなりました。川根の象徴である野守の池を昔のきれいな姿に取り戻そうと、懸命に浄化活動に取り組みました。時間はかかりましたが、今ではヘラブナなど様々な魚が池へと戻り、ゴイサギやカワセミなどの野鳥の姿も見かけます。冬には渡り鳥の群れが訪れるなど、豊かな自然が蘇りました。この野守の池で、今日ものんびりと釣りを楽しんでいます。

夏を楽しむ!

毎年参加者募集!和船漕ぎ大会

野守まつり

毎年8月、野守の池を舞台に昼は「和船漕ぎ大会」、夜は「灯籠流し」や「花火大会」が催される、川根の夏の風物詩。



情報はこちら! 島田市観光協会川根支所 0547-53-2220 / 島田市観光協会 <http://www.shimada-ta.jp/>



ヘラブナ釣り

野守の池は、全国有数のヘラブナ釣りの名所。平日でも多くの人々が陸釣りや和船釣りを楽しむ。ヘラブナの他に、ウナギやナマズも釣れる。180cmのコイを見たという話もある。

池の周りには、約50本のしだれ桜が咲く
3月下旬から4月上旬までが見頃



大井川の忘れ形見(河跡湖)といわれる野守の池
現在も大井川の伏流水が地下から湧き出ている…map

悲恋の伝説

池の名の由来になった遊女「野守太夫」は、京から家山まで憧れの高僧を追いかけてきた後、その恋がかなわずこの池に身を投げたという伝説がある。



みんなが川根で元気に

松島さん



天王山公園で毎年行われる「KAWANE 夏祭り」はもともと自分たちが楽しむために始めた音楽イベントです。2013年には13回目を迎え、年々多くのお客さんに来場いただき、いつしかお客さんの笑顔を見るのが何よりの楽しみになりました。イベントの開催が川根地域の活性化や情報発信につながっているのは本当にうれしいです。緑の山々に囲まれた大自然を舞台にした手づくりの音楽イベントで、みんなを元気にできればと思っています。



川根が好きだから、川根を元気にしたいみんなが集まり、イベントを盛り上げていく



若者だけでなく、家族連れも、お年寄りも、幅広く集まる音楽フェスティバルは夜まで続く
...map⑨

KAWANE夏まつりの情報はこちら! 島田市川根文化センターチャリム21 tel/0547-53-3511

ぬっくい灯りで

ホッと

あったまろう



あったかい
作品が並ぶ



川根のぬっくいあかり展

11月中旬、家山駅から60点ほどの行燈が続く。和紙からもれてくる優しい明かりは、見る人の心まで温めてくれる。

お問い合わせはこちら! あかりアートの手 (代表: 児玉) tel/090-4445-4458 又は 0547-53-3693

小さな山の

あたたかなひかり

チャリムくんが
お出迎え



天王山のイルミネーション

12月下旬から2月下旬まで、天王山公園の木々やタワー塔などが、約6万球のイルミネーションで飾られる。高台からの夜景も美しい。

お問い合わせはこちら! 島田市観光協会川根支所 tel/0547-53-2220
島田市観光協会 <http://www.shimada-ta.jp/>

笹間 神楽

sasama kagura

生きた伝統を、未来へ伝えるために。

笹間神楽は、笹間篠上地区に江戸時代から伝わる「山の神楽」で、島田市の無形民俗文化財に指定されています。いくつもの舞型があり、舞にあわせた曲も多彩です。いま舞い手の高齢化がすすむなかで、川根中学校の総合学習の一貫として笹間神楽を教える活動も行われています。また神楽と地域のイベントやコンサートとコラボレーションなど、時代にあわせた新しい試みにも挑戦しています。



順の舞

神様をよぶための最初の舞は、すべての舞の基本となる一人の舞



三宝太刀の舞

右手に鈴、左手に太刀をもって三人で舞う邪気を払う舞

伝統を、次代へ受け継ぐ



中学校の統合により、笹間地区の生徒が川根地区の生徒に神楽を教えたのがきっかけとなり、川根中学校で笹間神楽を教え、継承する活動が行われるようになった。

笹間神楽保存会の坂田さん▶



毎年10月下旬に笹間の栗原、二俣地区の八幡神社で笹間神楽が奉納されます

…map④

笹間神楽の情報はこちら!

島田市山村都市交流センターさま

tel・fax / 0547-54-0661 E-mail / koryu-c-sasama@cy.tnc.ne.jp



恵比寿様と大國様が協力して鯛を釣り上げる、こっけいな二人舞
祭典の時には氏子が竿先にお金を付けて五穀豊穰に感謝する

